

かめ亀よろず相談所 ウミガメの訴えの場合

白衣を着た先生	<p>ここは、何かに困ったカメさんたちが訪れる“かめ亀よろず相談所”です。</p> <p>私は所長の 〇〇 です。</p> <p>今日は皆さんにも相談所の職員になっていただき、色々な動物たちの困っていることを、皆さんのお知恵を貸していただき解決したい。</p> <p>トントン(ノック)</p>
先生	<p>おやおや、早速だれか来たようです。</p> <p>どなたですか？どうぞ、お入りください。</p>
お腹の大きいウミガメ	<p>私はウミガメのお母さんです。先生、助けてください。どうにもこうにもなりません。</p> <p>たくさんの仲間たちもほとんど困り果てているんです。</p>
先生	<p>まあまあ、落ち着いて。</p> <p>何をお困りなんですか。落ち着いて話してください。</p>
ウミガメ	<p>実は・・・、実は・・・、卵を産む場所がないんです。(泣)</p> <p>このままでは私たちは地球上からいなくなってしまうかもしれません。(泣)</p>
先生	<p>そんなあなた、大げさな・・・。</p> <p>くわしく聞かせていただけますか？</p>
ウミガメ	<p>私たちウミガメはいつも海で生活しているのですが、卵だけは陸地に産まなければならないのです。それもどこでもいいという訳ではないんですよ。きれいな砂浜じゃなければならないんです。ただでさえ最近は砂浜が削り取られて産む場所が減ってきているのに、この前海から砂浜を覗いたら、砂浜中い～っぱいのゴミだらけじゃないですか！あんなになっていたら大人の私でさえ砂浜に上がっていくことができませよ。それにね、そこに産卵して子供たちが生まれたらどうなると思いますか？子供たちは小さいからそのゴミの山を乗り越えて海に帰ることができないんですよ。どうしたらいいの～。(泣)</p>
先生	<p>う～ん。皆さん聞きましたか？卵が安全に産むことができれば、それに子供たちが無事に海に帰ることができなければウミガメさんたちは増えることができずにどんどん減ってしまいますよね。先ほど私はウミガメさんに「大げさな。」などと言ってしまいましたが、これは大げさどころではありませんね。これは困りました。</p>

ウミガメ	先生、困っているのは私たちウミガメだけじゃないんです。この前なんか海鳥さんが何やら騒がしいので聞いてみたら脚に釣り糸が絡まっているじゃないですか。なんとか取れたからいいものの、絡まったままだったら泳ぐこともできないし、歩くこともできないし、餌だって捕まえられずに死んでしまうところだったんですよ！私たちはどうしたらいいの～！（泣）
先生	う～ん、困った。そうだ！今日は私だけではなくてたくさんの皆さんが駆けつけてくれていたんです。ウミガメさん、皆さんにもお知恵を拝借しますので少し待っていてくださいね。
ウミガメ	はい。お願いします。皆さん、よろしくお願いします。
先生	皆さん、今回のことで問題になっていることは、砂浜に流れ着いてくるゴミや釣り糸でしたよね。これってどうしてこの海岸にあるのでしょうか？
会場	……………
先生	そうですね。これは私たち人間が作ったものですね。 ではどこから着たんでしょうか？
会場	……………
先生	そうなんです。ゴミはどこで捨てても、最後には海にたどり着いてしまうのです。ではどうしたら良いのでしょうか？
会場	……………
先生	そうですね。決められた場所に散らからないように捨てなければなりませんね。 それに加え、ゴミ自体も増えないようにするためには、何か物を買う時によ～く考えて、すぐに飽きてしまったり、すぐに壊れて使えなくなるような物を買わないようにすれば、ゴミも少なくなるでしょうし、物を大切に扱うことは何より無駄遣いも減りますよね。 ウミガメさん、これでいいですか？
ウミガメ	ありがとうございます。実はまだあるんです。私たちはこの近くの浜辺にも卵を産みに来るんです。その卵を産む砂浜には大きな車が走り回っていて私たちは怖くて陸に上がれないんです。それにそんなところに産卵したら、卵があ

踏み潰されてしまいます。どうにかありませんか？

先生

う～ん。これも困りましたね。私も夏に見たことがありますよ。人間が海に遊びに行く季節はウミガメさんの産卵する季節と同じだったんですね。場所によっては車が入られないように柵がしてあるところもありますが、全部の海岸に柵を作ることにはなかなかできませんね。どうしたらいいのでしょうか。

会場

.....

先生

きっと海岸で車を走らせている人はウミガメが産卵することを知らないのかもしれませんがね。思い出しましたが、車が走った跡のワダチもウミガメの赤ちゃんにとっては大きな障害物になってしまうそうですね。これだけでも私たち人間がウミガメにいろいろ気づかないところで迷惑をかけていたことがわかりましたね。なんとかしなくちゃなりませんね。

私たち人間は他の動物たちに比べ、知恵もあるし、道具も使えるし、言葉で伝えることができる動物ですよ。同じ地球上で暮らしている動物たちのことをもう少し知ってお互い迷惑をかけないようにしなければなりませんね。

ウミガメさん、これからは海で生活している皆さんのことも考えながら生活していきますので、もう少し待っていてくださいね。

ウミガメ

わかりました。ぜひお願いしますね。皆さんもお願いします。お話ししたら少し希望が見えてきました。ではまた今度の夏、どこかの海岸に卵を産みにやってきます。さようなら。

先生

いや～、私たちの何気ない行動が、ウミガメさんたちの命に関わることだったなんて驚きました。それでは忘れないように、もう一度確認しておきましょう。

1. ゴミは散らからないように、風に飛ばされないように決められた場所に捨てよう。

2. すぐにゴミになるような物はできる限り買わないようにしましょう。

3. 釣りをする時は、糸など忘れずに持ち帰り、決められた場所に捨てよう。

4. 砂浜には車で入らないようにしましょう。

もっと調べれば、まだまだ見直さないといけないことがありそうですね。

これからも調査を続けていきましょう。この後、家に帰ってからも皆さんは指導員ですから、皆さんも身の回りの様子など、気をつけて観察してくださいね。本日のご協力、ありがとうございました。またお会いしましょう。